

要請番号 (JL04518A21)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モンゴル	G158 理科教育		個別	新規	2年	・ 2018/3 ・ 2019/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

教育・文化・科学・スポーツ省

2) 配属機関名（日本語）

オユニーイレードゥイ統合学校

3) 任地（ダルハンオール県ダルハン） JICA事務所の所在地（ウランバートル）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（鉄道で約7.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

1972年設立の12年制(小・中・高校一貫教育)を実施している2部制の学校。3887名の小・中・高校生、155名の教師、教師以外の職員が46名在籍している。年間予算は約1億5千万円。2000年から2011年まで、JICAボランティア8名(日本語教師5名、PCインストラクター、家政、技術科教師)、KOICA、米国ピースコーボランティアの受入実績あり。その他、外国からの機材供与あり。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

モンゴルは近年、豊富な地下鉱物資源に依存した産業構造となっており、その価格変動による経済への影響が大きい。そのため、産業人材の多角化が求められており、理数系の教育が重視されている。2014年から高等学校の生徒が、一部の授業を選択できるようになり、理科コース希望の生徒のため、授業内容を更に充実させる必要がある。しかし、板書・暗記中心で、思考、実験、観察を重視した授業の実施ができておらず、生徒が理科をおもしろいと感じ、興味をもって学習する授業の実施が求められている。このような状況から、実験を適切に取り入れた生徒主体の授業を行い、理科教育の質的向上を目指すために、JV(青年海外協力隊)が要請された。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

1. 中学高校生相当(6-12年生)の生徒に対し、同僚教員とチームティーチングで理科(物理、化学)の授業を担当する。
2. 実験を適切に取り入れた生徒主体の授業を行う。
3. 身近な素材を利用した理科実験器具や教材作成の助言を行う。
4. 同僚と共に、校内の授業研究会に出席し、生徒主体の授業の観点から指導・助言する。

※担当する学年や科目、授業時間数は赴任後、配属先とJV間で話し合い決定する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

簡単な実験器具(ビーカー、フラスコ、メスシリンドラーなど)、薬品

4) 配属先同僚及び活動対象者

校長(女性 50代)

カウンターパート(女性 40代 物理担当経験22年)

同僚理科教員 18名 (20-50代 大卒)

※ 物理 5名、化学 6名、生物 4名、地学 3名

中学生相当生徒(6-9年生)1137名
高校生相当生徒(10-12年生)670名

5) 活動使用言語

モンゴル語

6) 生活使用言語

モンゴル語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許/資格等]：（中学校又は高等学校教諭（理科））

[性別]：（ ） 備考：

[学歴]：（大卒）理系 備考：同僚の教育水準と合わせるため

[経験]：（実務経験）3年以上 備考：経験に基づいた指導が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（ステップ気候） 気温：（-30～30°C位）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[電気]：（安定）

[水源]：（安定）

【特記事項】

【類似職種】